

◆授業のポイント◆

- ・ 学習意欲を高めるための教材・教具の工夫
- ・ 日常化・生活化を目指した授業の工夫

保健体育科学学習指導案

学 級 2年4組 (男子23名女子18名計41名)
 場 所 2年4組教室 (2年校舎4階)
 授業者 教 諭 今 藤 志 津 香

- 1 単元 傷害の防止 (全8時間)
 2 題材 「傷害の原因と防止」
 3 本時の実際 (1/8)

(1) 目標

- ① 傷害の原因と防止について関心を高め、自分の課題として取り組むことができる。
 (関心・意欲・態度)
- ② 傷害の原因は人的要因と環境要因に分けて考えることができることを理解できる。
 (知識・理解)
- ③ 傷害の防止には、人的要因対策・環境要因対策が必要であることを理解できる。
 (思考・判断・知識・理解)

(2) 展開

| 過程 | 主な学習活動 | 時間 形態 | ○指導上の留意点 ◎評価 ※授業のポイントについて |
|--------|--|-------------------|---|
| 導 入 | 1 傷害の現状について考える。 (1) 近年の事故や災害について知る。 (2) 中学生の死亡原因やけがの種類などを考える。ワークシートに記入したことを発表する。 | 10分 一斉 個人 | ○ 近年の事故や災害の様子を電子黒板で見せ、どのような事故があったか説明する。 ※ 学習意欲を高めるための教材・教具の工夫 ○ 全体の死亡原因を電子黒板で提示し、小中学生の死亡原因について考えさせ、ワークシートに記入させる。記入したことを発表させる。 ○ 自分たちが日頃どのようなけがを多くしているか考えさせ、ワークシートに記入させる。 ○ 本時の学習のねらいや流れを理解させ、学習の見通しをもたせる。 |
| | 2 本時のねらい・学習の流れを確認する。 傷害の原因と防止について考えてみよう。 | 一斉 | |
| 展 開 | 3 傷害はどのように発生するか考える。 (1) イラストを見て、どのような要因で傷害が起こるか例を考えさせる。 (2) グループ内で人的要因・環境要因を整理し、ワークシートにまとめる。 | 35分 個人 グループ | ○ ワークシートを用いて、傷害の要因について考えさせ、記入させる。 ○ 個人で考えたことをグループでまとめさせる。 ◎ 傷害の原因は人的要因と環境要因に分けて考えることができることを理解できたか。(知識・理解) |
| | 4 傷害を防ぐにはどうすればよいか考える。 (1) 資料を見て、どんな危険がひそんでいるか考え、グループ内で意見を出し合う。 (2) グループで出した意見を発表する。 (3) 傷害を防ぐには人的要因対策・環境要因対策をとることが必要であることを知る。 | 個人 グループ | ○ 自分の考えをグループで発表させ、できるだけ多くの危険を予測することができるようにする。 ○ グループで考えた内容を発表させる。 ◎ 傷害の防止には、人的要因対策・環境要因対策が必要であることを理解することができたか。(思考・判断・知識・理解) ※ 日常化・生活化を目指した授業の工夫 |
| 終 末 | 5 授業の感想をワークシートに記入する。 | 5分 個人 | ○ 授業を振り返らせ、授業の感想やワークシートに傷害の防止に努めるためにどのようにしていきたくワークシートに記入させる。 ◎ 傷害の原因と防止について関心を高め、自分の課題として取り組むことができたか。 |
| | 6 次時の学習内容を確認する。 | 一斉 | (関心・意欲・態度) ○ 次時の学習の見通しをもたせる。 |